

WORLDWIDE

白髮一雄

白髮一雄記念室 第20回展示

2022

2023

10/22 (sat) – 3/26 (sun)

〔休館日〕毎週火曜日

ただし年末年始12/29～1/3休館。
3/21(火)は祝日のため開館、翌3/22(水)休館。

〔開館時間〕10:00～17:00(入館は16時30分まで)



《天富星撲天雕》尼崎市蔵 1963年

〔入場料〕一般 200円 シニア(65歳以上) 100円 大高生 100円 中学生以下 無料

※ 障がい者手帳等をご持参の方は半額、その介助者の方1名は無料。

※「西野壮平写真展 線を編む」の会期中(11/26～12/25)は、

同展の入場券で白髮一雄記念室もご観覧いただけます。

白髮一雄記念室

尼崎市総合文化センター4階

〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16

Tel.06-6487-0806



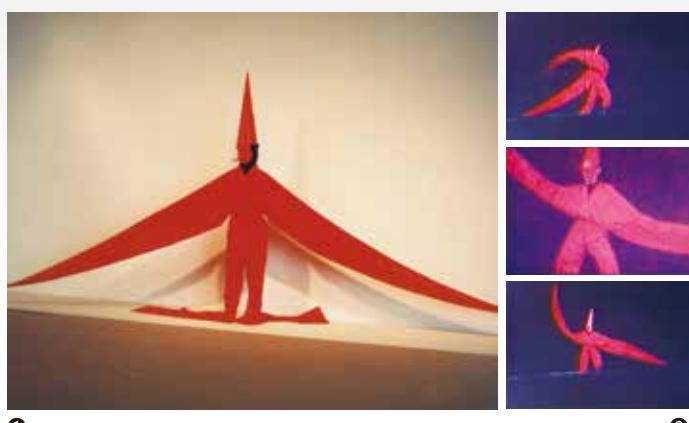
WORLDWIDE 白髮一雄

白髮一雄（1924～2008年）は尼崎市ゆかりの抽象画家です。床に広げたキャンバスに大量の絵の具を置き、天井から吊り下げたロープにつかまり素足で描く独自の技法「フット・ペインティング」を確立しました。1955年、前衛美術グループ「具体美術協会」（具体）に参加し、1972年に解散するまで中心的なメンバーの一人として活躍しました。白髮はアメリカ、イタリア、オランダ、フランス等の都市で開催された国際芸術祭および「具体」の海外展へ数多く参加し、「具体」のメンバーらとともに注目を集めました。

1957年、フランスの評論家ミシェル・タピエが来阪し交流を持ったことをきっかけに、白髮は翌年、作品をヨーロッパに送る契約を結びました。以降、多くの作品が海を渡り、その一部は現在国内外の美術館にも収蔵されています。

本展では、代表作『水滸伝豪傑シリーズ』のひとつ《天富星撲天雕》を展示すると共に、国内外における美術館等の作品の分布を示します。併せて、当時の展覧会の様子や作品と日本の伝統文化との関わりなどを、写真と資料で振り返ります。

今もなお世界各地で展示され、国境を越えてファンを魅了し続ける白髮一雄の作品とワールドワイドな活動の軌跡を、関連資料等とともにご覧ください。



①



①



②

資料

① 写真:《超現代三番叟》1986年12月～1987年3月、ボンビドゥー・センターでの展示

② 映像:1957年「(第1回)舞台を使用する具体美術」でのパフォーマンス

作品

①《祝いの舞》1981年
公益財団法人尼崎市文化振興財団蔵

②《無題》1960年 尼崎市蔵

展示解説会

担当学芸員による展示作品の解説を行います。

〔日時〕12月17日(土)、2023年1月28日(土)、2月25日(土)
いずれも14:00(約30分)

〔定員〕各日10名

〔申込み〕不要

〔参加費〕無料(白髮一雄記念室の当日券が必要です。)

同時開催

西野壯平写真展 線を編む

旅をテーマに世界の都市を歩き、モノクロフィルムで撮影した膨大な数の写真を1枚1枚手作業でコラージュする手法で作品を制作する写真家・西野壯平(1982年—)の個展。

〔会場〕尼崎市総合文化センター 美術ホール

〔会期〕2022年11月26日(土)～12月25日(日) ※火曜日休館

〔入場料〕一般700円 シニア(65歳以上)・大学生600円

高校生以下無料

※同展の入場券をお持ちの方は、白髮一雄記念室にもご入場いただけます。

ご来場の皆様へ

ご入場の際はマスクの着用と手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご協力をお願いします。

Access



■阪神尼崎駅より
立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)

■JR尼崎駅より
阪神バス駅南側4番のりば②→
阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車

■阪急塚口駅より
阪神バス③→「昭和通」下車
阪急バス④→「尼崎総合文化センター」下車
※阪急バスは尼崎市内線

■有料駐車場あり
(30分200円/日最大900円・普通車)

阪神電車特急で
「神戸三宮」から
22分
阪神尼崎
7分
「大阪梅田」から
20分
「大阪難波」から

